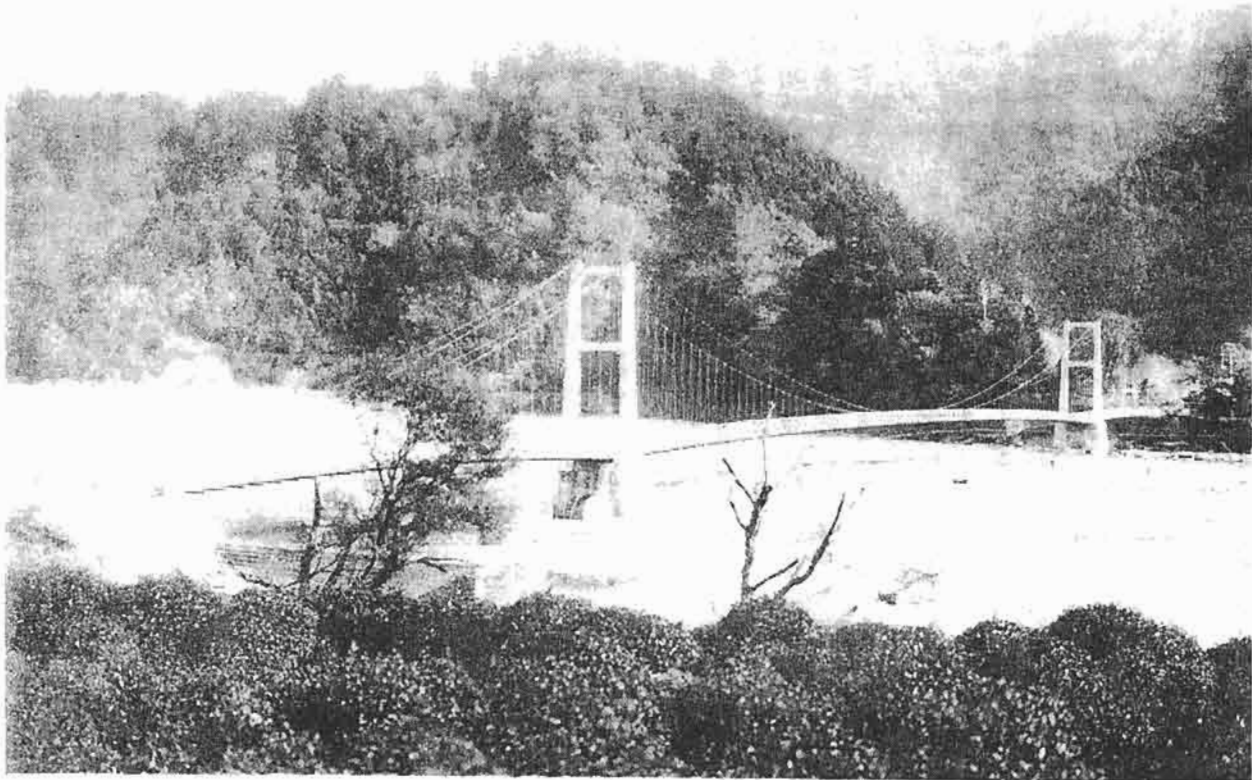


# 中川根ふる里通信

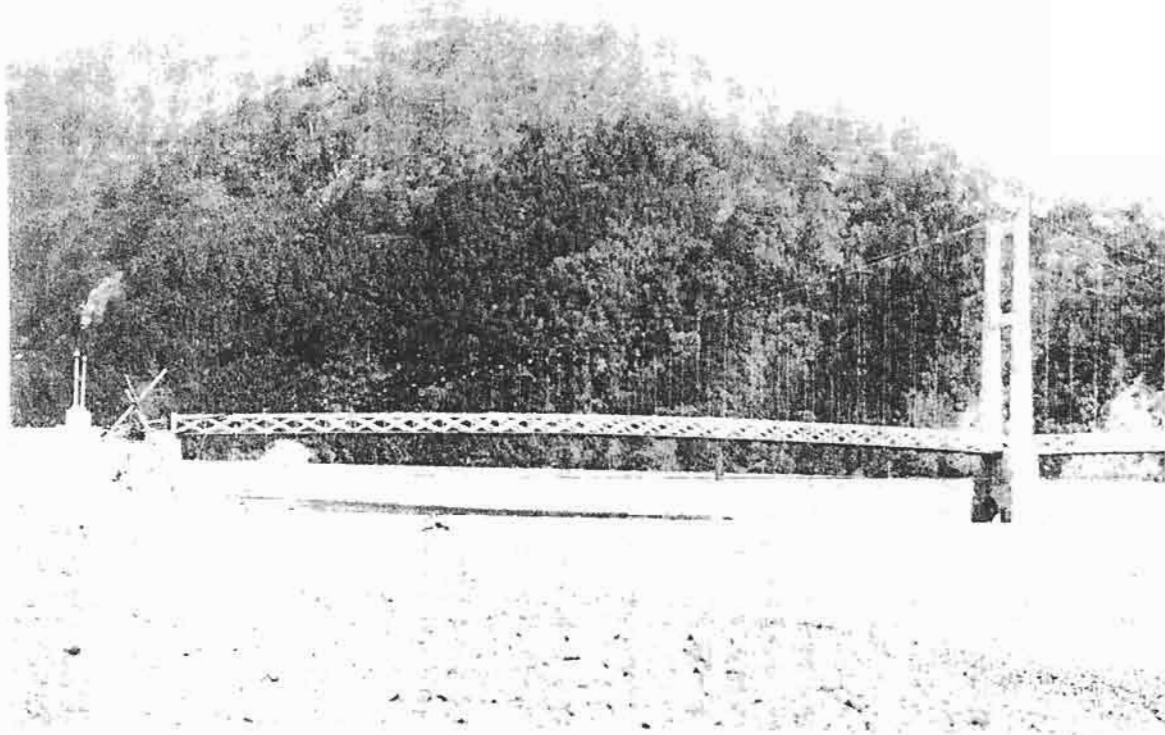
## = 第 16号 =

編集・発行・モア・ラブ中川根  
 連絡先 〒428-03  
 静岡県榛原郡中川根町  
 上長尾 857-6  
 ふる里通信係  
 郵便振替口座  
 <名古屋> 7-81556



なつかしい下泉吊橋

中川根村長(三十一〜三十三代)  
 鈴木宗一郎氏が私財を投じて架橋した木鉄混合吊橋



全長 272m. 幅員 2.4m.

# 新年明けまして

## おめでとうございませす

### 町長 徳嶋淳男

内平かに外成る。地平かに天成る。国の内外にも、天地にも平和が達成されるように、との願いが込められた平成元年。昨年もまた激動の一年でありました。

リクルート事件や消費税の実施が、政局不安を招くところとなり、七月の参議院選挙では、与野党勢力の逆転を招く結果となりました。一年のうちには二回も総理大臣が替りましたのも、異例のことでしたが、私達の地元から同時に二人の大臣が誕生するという、大きな喜びもありました。国外におきましても、ソ連ゴルバチョフのベレストロイカ、中国の天安門事件、更には、東欧諸国を吹き荒れた自由化の嵐と、これまた激しい変革の年であったと思えます。

そうした反面、私達の中川根町におきましては、幸い町民の皆様格別のご協力を頂きまして、当面する町政の課題が逐次着実に解決され推進されてまいりましたことを、心から厚くお礼申し上げます。

二年目を迎えました大開川の環境改善の問題も、川根三町の皆様の市民運動の盛り上りと、斉藤県知事はじめ県当局、中部電力、建設省等関係の皆様方の心血を注いだご尽力によって、昨年三月にはようやく、その結着を図って頂きました。

また待望しかったウッドハウスおろくほも立派に完成致しまして七月のオープン以来、予想以上の好評をばくしております。ふるさと創生事業につきましても、町民の皆様のご提案をもとに、ふるさとづくり委員会や、町議会におきまして、審議検討の結果、町民の皆様の実知を結集した形でもって、最終的には、五つの事業に絞りこんで頂きました。

その第一には、地場産業の振興を図るための拠点施設として、地場産業会館の建設が決まりました。ふるさと創生資金のほか、県単独の過疎地域への一億円、そのほかの補助事業を活用して、財源計画も決まり、すでに建設場所の検討を進めております。

第二には、町民の皆様の実情、交流の場をつくるための、町内各地に公園整備を進めてまいります。

第三には、町の将来を担う若者を育てるための、人材育成事業として、若い人たちの研修活動を助成し、新しい事業にチャレンジする、やる気のある若者にも積極的に支援する制度を発足いたします。

第四は、文化的複合施設の建設であります。未だ町内に整備されていない図書館、資料館、文化会館というような、総合施設を建設いたします。

第五には、町民の皆様が夢を託して頂けるものとして、町内の温泉源探査事業を実施いたします。

以上、あるものはすでに、事業に着手したものもあり、また、あるものは、確実にその方向づけが決まりました。町づくりの気運はいま急速に高まりをみせております。

又、昨夏以来、長島ダム建設に伴う、資材運搬が町内の幹線道路を使って行なわれはじめ、平成四年から本格的に行われることが明らかになってまいりました。二車線未整備区間の多いなかで、工事用大型車輛が増加すれば、交通マヒによる、住民生活への支障が懸念されます。そこで、二車線道路の完成を待って、資材運搬を始めるように、又、快隘ヶ所については、緊急に拡幅工事を実施して頂くように、陳情を重ねてまいりましたところ、当局におきまして、地元要望に対して、極めて理解を示され、早速現地調査、工事の繰り上げ着工等、特別のご配慮を頂いております。禍を転じて福と成す、このことわざ通り、この機会を捉えて、幹線道路の画期的整備促進を図っていきなさいと考えております。

このように、ただいま、町政の抱えております諸問題も大方のものについて極めて順調な推進がはかられておりますことを、誠に有難く感謝申し上げます。

そうしたこともありまして、私はこの度の任期満了をもちまして、町長の職を退任させて頂くこととなりました。

省みれば、浅学非才の私が、諸田前町長のご病気で退任の後を受けまして、図らずも町政を担当させて頂くようになりまして、二期八年の間、町民の皆様から常に温かにお支援助と、ご厚情を賜わることが出来ましたことを、ここに改めて、厚くお礼申し上げます。

平成の世となり二年目を迎えます。内外共に激しい変革の時代であります。すでに、静岡空港の基本計画も示され、たが、第二東名の路線計画も間もなく発表されるものと思っております。

我がふるさと中川根町が、更に大きく発展の道をたどることが出来ますよう、合せて町民の皆様、我が町をふるさとと思ってお下さる皆様の、ご健康とご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶と致します。

# 頌春



'90 1 1

中川根で一番高い所 蕎麦粒山(1,627m)で初日を仰ぎました。  
 おだやかな天候に恵まれて駿河湾伊豆半島御前崎は手に取る様に見え、積雪のふちを金色にそめ、かし天上には星も見え六時五十分東南の空をこがし初日が昇りました。ふと東方に目をやりますと富士の高嶺が紅に染まっていました。今年も平和で豊かな年になりませう様祈ります。山天役の寒暄計は氷点下10をまわっています。

## 2月18日は、衆議院議員選挙投票日でもあり我が中川根町長選挙の投票日です。

選挙になるのか否かは未だ判りませんが、近日中に新しい町政リーダーが決まります。今回を持ちまして町長職を返かれます徳嶋町長さん、二期8年町民の先頭に立ち、堅実な中川根町を築いて下さいました。御苦勞様でした。

## 暖かい中川根に雪が降りました。

去年は三月まで冬とは思えないほどの暖かい日が続き、霜も氷もまわって雪など積った気候がありませんでした。

今年は一月二日、十六日、二十六日と雪が降りました。

写真に十六日、里は雨が雪に変わり、積雪は少なかつたのですが、尾呂久保地区は標高約六〇〇M、二〇〇位の積雪となりました。

夫の車にチェーンをつけて、写真撮影につれていってもらいました。



雪は心が洗われる様で好きです。山ふところの当地に雪が降るのは本当にめでたい事です。それは気象条件が重ならないと、今度の様な雪にはならない事が多いのです。上海、渤海湾方面で発生した低気圧が日本の南海上を通過し、だんだん発達して八丈島上空を通過し、しかも北方から冷たい気流が流れ込んだ時、大雪となるのです。(西高東低の冬型の時は、風花の様なものですが)そしてその様な天気予報が出た時、ひそかに期しの子供の様には(ヤケ)のです。

雪のウッドハウス、おろくぼとおろちの池です。







# 母校は今

さゆり幼稚園の歌

♩ = かわく 美しく

詩 詞 い さ お た ま き  
曲 齋 藤 高 順

① み と り の や ま に つ つ ま れ し さ ゆ り の こ ど も の  
② が わ ら の み す に か げ う つ し さ ゆ り の こ ど も の

う た う こ え き う の し わ せ つ く る ろ か ら  
は し る か げ あ す の せ か い と つ く る ち か ら

は お い た か い り の は な か み の  
は お い た か い り の は な か み の

あ い に ひ か る さ ゆ り の こ ど も  
あ い に ひ か る さ ゆ り の こ ど も

「卒業した子どもたちにとっても、何よりも親にとって、母のだんのさゆり幼稚園は心のふる里、その灯を消さないで……」先日会った人の声。

益々過疎になっていく傾向のこの地での幼稚園経営には、実際、気を滅入らせるものがあります。この山なみのふところ、抱かれ大井川の流れる大自然の中での幼児の教育は、まさに理想的な教育環境でもあります。これからは……



平成元年11月5日 中川根町産業文化祭で演奏する鼓隊のみなさん

に集う、父母と共に、幼児を育てるにふさわしい手づくりの幼稚園活動を展開して行きたいと思えます。加えて山村ならではの、幼児教育ならではの、専門性の高い人材で、地域の文化に貢献したいと願っております。

松下文代

稿

# 望みたいことあれこれ



最近マイカーの普及と、余暇時間の増加によって、旅行や買物などで遠出をする機会が多くなってきました。

知らない土地などへ旅行をするたびに、いつも感じることは、それぞれの地方により、道路事情に大きな差があること、またこれは主に、観光地についてであり、設置してあるトイレに格差があることです。

一般的に観光名所といわれるところは、お土産物などを扱う売店や駐車場はおおむね整えられており、トイレの設備については、充分とはいえないところが多いようです。

このころでは、水洗式トイレが普及してきまいたが、中味、つまり設備については、いろいろで「お粗末」の域を出ないところも、またあります。とくに、団体旅行の折など、婦人用のトイレが不十分なため、車への旅行が、このための混雑と不満により逆にストレスがたまってしまいうような結果をもたらすことも珍しくありません。

売らんかな主義の売店と広い駐車場さえあれば、その他はどうでもよい、といわんばかりのやり方は、商業モラルの上からいってめられることではありませんが、これらを、総合的な面で管理監督をする立場にあるお役所にも、また、責任の一端があると思えます。「観光立県」とか、「観光立町」といふ言葉が使われている(または使おうと考えている)自治体は、少くとも、自らの管掌する地域内で、観光名所として外来者に紹介をしていくと考えている場所があるならば、そこには、まず設備の整ったトイレの設置を図るべきであると考えます。

つきに道路事情であります。これは、トイレの設置とは次元がちかうと考えられがちですが、本質的には同じように思えます。道路の問題、道路案内、看板や標識の問題、信号機、ガードレールの設置の状況など、県、町などの境界を越えるたびに、これらが急激にかわるさまは、「変化がある」といって、楽しんでほしいものがあります。

人はそれを「政治力の差」であるとも、「行政手腕の有無を示す」ものであるともいいます。それはそれとして、理解いたしますが、それが十年一日の如く遅々として、改善がなされないとしたら、行政の怠慢もさることながら、その地域の住民にとっても、大きな不幸であるといわねばなりません。また、その地を訪れる外来者(観光客であれ、ビジネスマンであれ)にとっても、大へんにムダな負担を掛けさせるものであります。

最近各地で、「地域の活性化」への「活性化」ということは、ほとんどの場合、この「活性化」といふことには、「ふるさとづくり」とか、「村おこし」とかいう、こぼれ聞こえぬ、大きな施策の実施とあわせて、基礎的な面での整備が大切であろうと思えます。

設備の整った公衆トイレの設置、そして人が歩きやすくなる、クルマが走りやすい道路をつくる、ことは、観光地ばかりでなく、どこにも要求されることですが、ふり返って、わが町も、これまた、とくに考えなければならぬことであらうと思えます。

中川根町を「ふるさと」として持たれている町外の方にも、そんな考えをお持ちではないでしょうか。

徳山 細田 洋司

## 本の紹介 「よみがえれ大井川」

この本は、静岡地理教育研究会 = 静岡県内の教員で組織されている = が、大井川の調査研究とされて、成果を公表されたものです。

大井川の水源地から下流までの地域の変遷と現在の問題点を鋭く描いたものです。

川は上流に住む人も、下流に住む人も、その利用を考える必要があり、下流の人達も、上流を学んで下流と結びつけています。

古今書院、B6判、2,200円、東京都千代田区神田駿河台2~10



# 寄

## 平成二年の新春を迎えて

名実共に平成の春、陽光おだやかに輝きて清々しき心にて氏神様に詣り、我が家のつがなを祈る。

昨年程国の内外を問わず大きく変貌した年も珍しい、激動の一年であった。

国民一しは悲しみにくれた昭和天皇のご崩御、氷雨降る皇居前の記憶所に並ひ、一日も早い御平癒を祈り、泣いて捧いだ人々の願いもむらなく、再び国民の前にお姿を拝する事は出来なかった。

「あと十二秒で昭和ともお別れです」とNHKの松平アナの言葉にこみ上げるものを感じたのは、私一人ではないと思う。

古閑先生の悲報に続き、美空ひばりさんの悲報には一瞬涙も無く、快方に向いていると聞いていただけに、「ほんとうに、昭和が又一つ消えてしまったのか」と想いを深くしたものでした。

偉大であった彼女、敗戦のどん底から人々を立ち上らせた歌の数々、想い出は走馬燈の如く幾が青春の心の糧であった。女王と言われながらも孤独に打ち克ち、多くのファンと共に歩み、最後の歌となった。川の流れのようにな。

知らず知らず歩いて来た、細くて長いこの道、振り返れば遠く、故郷が見える。

「道は道や曲りくねった道、地図さえない、それもまた人生、あゝ川の流れのようにな、ゆるやかに、いくつも時代は過ぎて、あゝ川の流れのようにな、

とのどなく、空が黄昏に染まるだけ、

実に当を得た人生の歌であると思う。

最大に印象深かったのは告別式、走り出した重電車に向って「有難うさようなら」と泣きながら手を振り道路に走り込んだ人々の姿を想うとき、不世出の歌の女王の最後に、別れに示されたファンの人々の姿を想った。

国外に目をやれば、ソビエトの書記長のベレストロイカ構想に端を発した、東欧における目を見張る様な変革、ヘルリンの望の撤去に至る自由化の大きなうねりとなって今やとどまる所を知らない世界の流れとなった。

やはり今年も躍動の年となる事だろう。

（以下省略）



## おみくじ

奈良にある某名刹のおみくじを子細に調べた人がいる。その結果は、大吉十七%、吉三十四%、小吉四%、末吉六%、末小吉三%、半吉五%、凶三十一%、という内訳だった。

大小は別として吉が三分の二を占め、凶が大吉よりはるかに多いのは、占いとしては妥当なバランス。さすが天の配剤である。凶をつかんだ人は、境内の木々の枝に、おみくじを結びつけ、神仏の加護を祈ることになるが、「大吉」を当てた人も、同じことをするのがしきたりという。

あまり良すぎるのは用心の元、自重自戒の対象とされているからだ。どうやら銭は日本人は、万事うまくゆき、幸福すぎるほど不安になり、警戒心が働らくように出来ているらしい。

「まあまあ幸せだが、ちやうど「不幸」という状態が、一番精神的にも安定し、明白への活力が出てくる民族なのだ。年を追って盛んになる初詣で、祈願やおみくじ占いの人々が自分の幸福度をチェックする悟りの場と見れば、盛況の理由もわかる。

渋谷区幡ヶ谷 松下金五

## お知らせ

### 天王原墳丘墓確認調査結果



第十五号で表記の特集を組みました。現在教育委員会、主任調査員大塚淑夫先生を中心に、学術調査報告書を作成しており、過去大がかりな発掘調査が、大正時代に一回、昭和二、三年頃、昭和十三年頃頃と行なわれ、すでに墓は掘りおこされていた事も、つきりわかって来ましたが、第十五号紹介の出土品の銅銭、べっこう製髪止めは近世明治以後昭和初めのころのものであることも判りました。多分何回かの発掘の時見物の人が落ちていたものではないかと考えられます。いずれにしても、いつの時代かの身分の高い人の墓である事は確かです。又報告書には、今号で曲り昭和の件に寄稿して下さった河村計三様、天王原考、歴史と伝説のほごまに、は中川根のみならず、北遠地方の歴史を知る重要な文献ですから、ふるさと通信に掲載させていただきます。広く皆様にお知らせしたいと思っております。

昭和十三年十月発行「第十号」において「大井川の瀬替え合書」の事を載せられた。今は現在の五和谷地区に大井川が流れていたのを、天正十八年（一五九〇年）駿河府中城主中村一氏と掛川城主山内一豊が共同事業として駿河側相賀の山中を切り開いて現在の大井川の流れをつくった事でありませすし、否は鶴山の開田を行つたために現地名（栗村）に河道をつくり、大井川の瀬替えをしようとしたが、実現しなかつた事でありませす。

発行後、いろいろな事がわかつて来り、今一度鶴山七曲り開田の歴史をお知らせしたく、特集を組んでみました。

塩郷附近から川根町坂里あたりまでの大井川曲流を、江戸時代から七曲りといつた。

駿河浅間新宮の神主であった中村高平は、その著書「駿河志料」に、大井川は……此村（地名）の上より世間川の上石倉山下まで七曲り屈曲す……其の水勢盛んにて山は岩山にして、奇絶の勝景なり」と書いています。

地名北面に長くのびた山脚は、ちょうど鶴が首をのほしたように見えるので、いつの頃からか、鶴山の七曲りとよばれ、大井川沿岸の景勝地として知られてきた。

### ● 明和三年（一七六六）の件

明和三年（一七六六）時の代官大草太郎左衛門は、この七曲りに大井川瀬替え（瀬違）工事を行い開田することを考えた。地名の村民は、突地見分にきた代官の役人から、村の東地区に堀割をつくって、大井川の水を通し、七曲りの川岸やもとの川敷に田を作る計画である、と聞いて驚き、さうそく村寄合をして相談した。結果は、この開田計画を中止してもらうようになり、また、その嘆願書（抜粋）は次のような文面である。

当村内へ大井川御流り通し遊ばされるおつもりとの御意趣は、これに付、惣百姓驚き入り存じ候。御上意御訴訟かまじき儀、恐れ多き御儀と存じ候へ共、惣百姓難儀の段、恐れながら左に申し上げ奉り候。

一、当村御検地田畑の内へ大井川御流り貫き、其の場所には、大小百姓寺共、三十七軒居住仕り罷り在り申し候へば、村方立返さ申し候て、石百姓外に居住仕るべき地所御座無く候。相残る百姓の儀も、其の場所へ、田畑入合所持仕り候へば、惣百姓難儀に及び申し候。一略一

# 鶴山七曲り開田の歴史

一方の儀、御年貢御上納金、翌年の新茶あてに、貨物にて金引借仕り来り申し候。右の茶畑等御座無く候へば、茶手金借用はるべき手立て御座無く候。

一、居村の内、川通り申し候へば、村の内、東西とへたり、まぐさ、たきぎ、竹木等取り申し候場所も御座無く、山林は川東に罷り成り、殊の外百姓勝手悪しく罷り成り、渡世送り方御座無く、一統難儀に罷り成り申し候。

一、川瀬違にて新開地御座候ても、他村の地先は前より申し伝えの通り境立て申すべく候へば、当村の新開地に相成り申し候ても、さうそく百姓の渡世送り申すかせぎになる新開地に相成り申すべく候。（推野家文書）

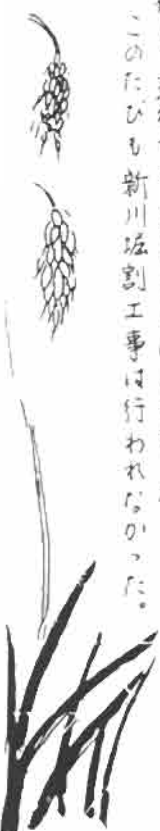
### ● 明和八年（一七七一）の件

明和八年（一七七一）には、ふたたび開田についてのお達しが、幕府御普請役からきた。この時は代替地の確約、年貢、作徳へ収穫のうち農民の手もとに残る分、後には小作料の意、家の移転費の補償等の条件をつけての通達であったが、村では、その時より、そのような理由をあげておこしをわたりとした。

六ヶ年以前戌年、太郎左衛門様へ申上候通り、数代の住居の地、離れ百姓其の内、新川御堀割場所の内、田畑居屋敷共、これ有り候者は、当分無用地に相成り、殊に茶畑柿の木などを植え、さうそくを、さうそく渡世仕候。困窮の村方に御座候、右堀割前に、多分柿の木茶畑等、これ有り候所、これらの儀、別して難儀至極に存じ奉り候。其の上御堀割場所の内、土中に多分大岩、これ有り候に付、堀割新川に必定相成り申すまじきやと存じ奉り候間、御堀割の儀、御免なす下さる様に願ひ上げ奉り候。（吉町中村家文書）

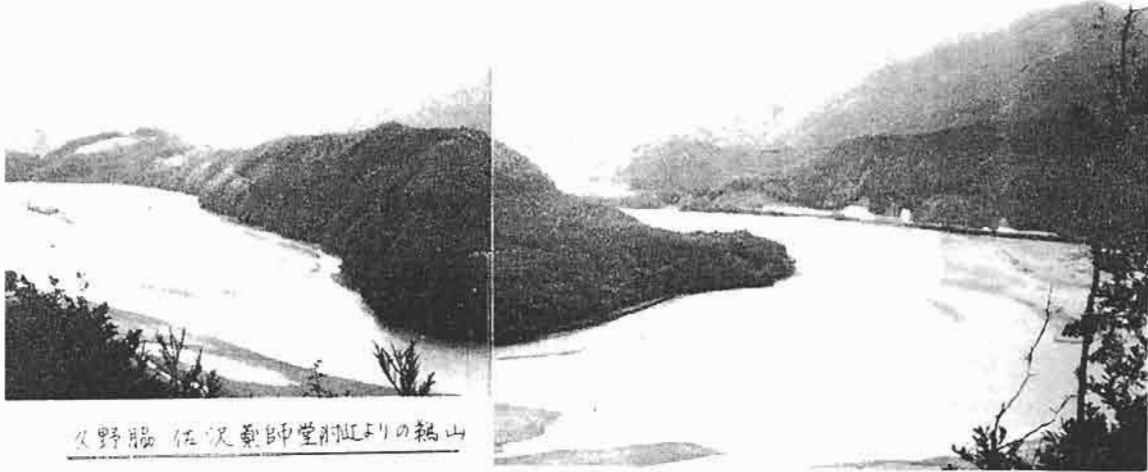
この時は、いわゆる田沼時代で、貨幣経済が進むにつれ、幕府の財政が苦しくなった。財政立て直しのための、請負制で、新田開墾を盛んに行つて、年貢増収を図つていた。七曲り瀬違開田の計画も、幕府の重要施策によるものであったと思ふが、地元住民の意向を無視して、強行するようになつた。

このたびも新川堀割工事は行われなかつた。





文政二年(一八一九)の件



山越の御堂野原

明和八年の酉八月に文政二年の正月五日、家山村塩本組(現川根町)の百姓清十宅へひとり武士のふりとおとすれて一夜の宿をもとめた。江戸の御家人で、名を添田八三郎といひ、新田開墾見分に三河へ来た帰り道(秋葉山や大石山を詣でて)たという。添田八三郎の清十は、「この辺に新開に相成るべき場所等、これなきや」と開かれ、清十は「大井川通り駿州志太郡地も村と申す所はこれあり、年々諸人心掛候えども容易に出来がなき由も申し上げ七曲りのことの話題となつた。翌日現場を見た添田八三郎は七曲りの開田が可能であることも説いて、清十を動かした。清十は葛尾村の名主作之右衛門や久野脇村の名長太郎、水川村の名藤五郎らの協力を得て、絵図面諸調書をしたため、二月二十九日江戸に上つた。(当時江戸は水川村出身の遠州屋兵衛がおりや、居させてもらった)。清十は添田八三郎の方へ諸書類を提出すればよいと思つていたので、一転二転役所とまわり最終的に添田八三郎上司、北村安正御役人へ御面会場という名目で幕府の力による開田の願書を出して三月末、開田した。ところが間もなく代官所から「その開田まかりならぬ」というお達しが来た。代官所の頭は、「この直轄江戸へ願書を出すことは、きびしく禁止されてゐた。清十は開田村役人は代官所へ始末書を書き、おれびびり上げ、江戸へ出た書類も願書とした。

中村藤五郎 文書

天保二年(一八三二)の件

天保二年(一八三二)遠州家山村の医師周庵が、七曲り開田の計画を立てた。地名村地内でおよそ六十間、笹間村地内でおよそ六十間、瀬達切割工事をして、大井川の水を真直に流し、川原や川べりを起返して田を作るということを考えた。次の文は周庵が代官所に出した願書の一部である。

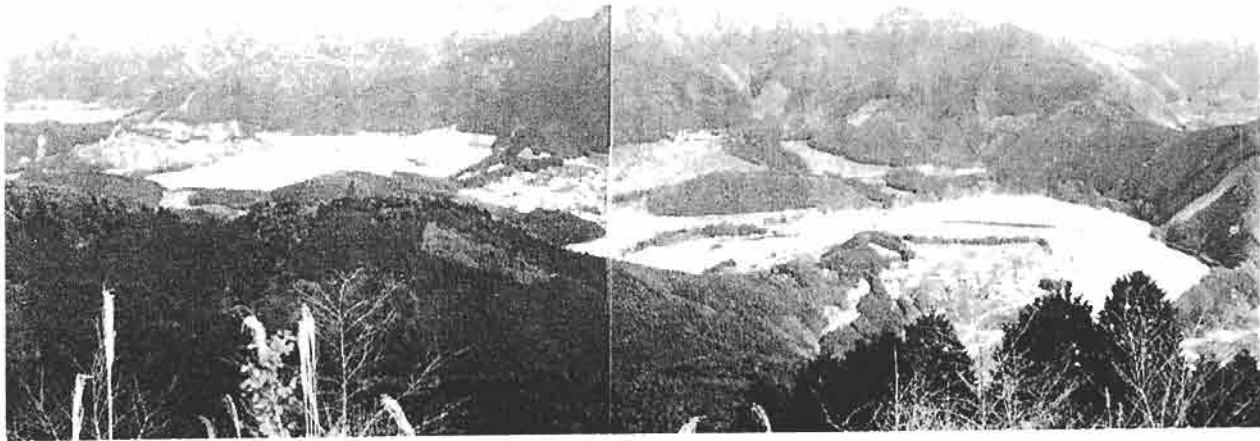
当御支配所遠州藤原郡家山村百姓医師周庵願上げ奉り候。当村の儀は大井川附にて、西は遠州、東は駿州と相へたて、同村に続く当御支配所、同郡久野脇村、葛尾村、枝郷石風呂村、坂里村、岸本武太夫様御代官所駿州志太郡地名村笹間渡村右六ヶ村の儀は七廻り、とよぶ大井川甚しく、まといまわり、水荒き場所にて、田方一切無之、昏畑に有之、出水の時に荒地亡所に相成候に付、往古より御定式御普請所へ毎年幕府で費用を出して堤防をつくる所)にて、年々御普請成し下し置かれ候えども、出水の度に石砂押し入り、畑地亡所おひたたく、作付はり候場所無之候間、岨之山地までも、木草等を焼き、右跡を畑にいたし作付候に付、一色作に、いたして取束うすく、夫食(食料のこと)等にもさしつかへ候上、人家多き村柄故、山のせき主に致す家族に候え共、近來山木伐りつくし、村々営み方無之、困窮難渋罷り在り候折柄去る子年(文政十一年)六月(五月三日)六月一日に、豪雨が降り、大井川沿岸大被害)大井川通り稀なる洪水にて、わすかの畑地荒地亡所おひたたく、別して葛尾村枝郷石風呂村之儀、百姓住家屋敷共残らず流失、数多く溺死人出来、いや増し困窮相かきみ村々一同飢渴に及び候次第に落ち入り、とて、石のせきには、右村潰れ転退に及び、数代住みなれ候土地を離れ、路頭にたふし候はり外無之旨、一同拵て相救ふ候。——略——私と父周庵は命中大井川水害を相避け、村柄直りの手段、数度相救ふ候儀、黙止難く、おねて心がけ工夫罷り在り候。私へ石志強致す儀につき、村々水害のわきわい相避け候よう致したき旨申し候。後、外に開墾もさしつかへ



川根町葛尾西山峠より山越の御堂野原

わい相避け候よう致したき旨申し候。後、外に開墾もさしつかへ





### 昭昭和？年頃の件

「鶴山七曲り瀬替え計画」これはまだ政府が大真面に「八郎潟」の干拓に取り組んだ頃、いわば食糧難時代のことだ。昭和何年であったかの確かな記憶もない。

立案計画は、久野勘の小平林作氏協力者は、榛原町で「静岡民友新聞」と称するミニ版を出していた小沢吾一氏。ずっと以前「東海紙料」の地名発源地に關係していた栗原吾一氏・地名区の栗原富氏の頭脳集団で、私などはまた女房と一緒になつて間もない青ニオであったかうご連中の指令通り飛びまわつていたにすぎなかつた。

当時はまた、フルトローワーやタンクはなかつたから、総て大井川の流れの力「水力」で土砂を運び、予定区域を埋めたて、流量の調整によつて、その上に表土となる泥を沈澱させるというものであった。

そういう資料の一切は、栗原吾一氏の提供で、永年になつて、地名発源地が、暴れん坊の大井川を相手に、克明にとり続けた洪水その他の全記録で、すこぶる有益な資料であつたと記憶している。

たとえば、濁流が秒速何メートルの場合、一時間の泥の沈澱層の厚さは二十センチに達する。というふうな具体的なものもあつた。

計画面積、主要工作物など全部小平氏の手に成るものであつた。他方、河川敷となる地名区の中に、問題は多く、検討の骨子となつて

つていた。このあたりが、栗原富氏の出番で、勿論また具体的に用地云々段階ではなかつたが、事業決定前に、部落ぐるみの政府対応策を検討し、一応の結論を出さうと云う。頭を痛くなるようなことはかりで、それだけに、富氏のこのときの明快な建策に脱帽したのは、一再ならずであつた。

このとき、建設大臣戸塚九一郎氏の秘書で、小野さんという方があり、報徳關係はたけでなく、小平氏も、小沢氏も政治的に、かなり長いこと、よしみをかかされていたから、中央官庁に關する問題では、地元議員さんより、はるかに有効な手が打つた。いつの間にか、關係書類は内閣事務局に入つていた。

それからほどなくして、建設大臣の現地視察が決定したのだ。これが最初にして、最後にならうとは、考えてもみなかつた。

その頃から降り続いた雨は一向に衰えず、豪雨となつて大井川は、狂暴な正体をむきたし、そのまま視察当日となつた。一行は電車に、つたと思つたが、家山まで来て、この狂乱怒濤を見ている。護岸決壊は、徐々に家山駅に近づいて来て、河岸地の樹木は流失したという。この惨状を目の前にして、一行は引き返した。

残念ではあつたが、さうして、四・五十町歩とみられた造成計画は、徒勞に終わつて、これが成功すれば、第二次に七曲りの中心部をぶち抜こう、といつた小平氏の壯圖も併せて、「カラ振り」に終つた。「食糧難」それは実に、さまざまな夢を土地の人びとに抱かせた。忌まわしい病根であつた、と云う感じがする。

### 余録

二百余年に渡つての七曲りをめぐる瀬替え開田の夢は、ついに実現されなかつた。

しかし明治十二年六月大井川の水を陸道および溝渠により導きおよそ二十町歩の水田を西地名に造成している。現在は中電陸道より採取しているものの、当時測量に夜提燈を使つたという、溝渠には、今も大井川の水が溜溜と流れている。

又明治四十三年十月、東海紙料(地名発電所)の完成はともない、今まで記載して来た東地名、張り割り予定地に、多量の土砂が水路一杯により溜溜と流れて、昭和三十六年東海パルプ地名発電所は閉鎖され、現在水路は、道路と化している。

前ページの航空写真は、町議会議事務局から借りたものだが、昭和の瀬替え計画の提出書類の写真的な感じがします。

河村計三(上長尾)

定期購読のお願い

中川根ふる里通信は有料発行です。

1部 千共 150円

皆様の定期購読がふる里通信の発行を支えます。年間4回(季刊誌)の発行を予定しております。今回で購読期間が切れる方に、郵便振替用紙を同封致しますから、引き続き、ご購読をお願いします。

年間予款 600円のご送金とおすすめします。2,3年分お送りいただいても結構ですが10年分というとし負担になります。購読期間が切れて半年以上御連絡が無い場合は勝手ながら中止とさせていただきます。※住所変更のおりもご連絡をお願いします。

お問い合わせ先 TEL 0547 56-0015  
川 沢 節子

※私宅通知票  
口座番号 名義屋 47-81556  
加入者名 中川根ふる里通信係

去年11月頃、関東地方に日本テレビとかで中川根町の「元氣村」と称して放映された多くの人がご覧になったと思います。中川根町の仲間です。それには、緑茶が、一役も二役も買っているようです。静岡県は全国でも胃がんが少ない県です。そして中川根は県でも一番胃がん患者が少ないと言います。一は川根茶ニはみかんで、うが、皆様もとうぞ、お茶をたくさんおめーりーさい。

母なる川大井川についても発電所水利権云々の川の流れたけり、いろいろの事が判って来りました。スミ、紹介したいと思っております。我が町には、いろいろな生涯学習をしている方がおられます。町史研究会長の河村さんは古文書も解説されて、会費に収めて下さいます。ほかの方でも、植物、オウ、鳥など、研究されている方がおられます。次回号より中川根の自然も皆様に紹介して行きたいと思っております。

新しい年を迎え、三面でも書きまわしたように初日の出を拝み、新年の気持ちでふる里通信取り組んで行きたいと思っております。ご購読の皆様も是非投稿をお願いします。又発行部数もハロロ部にはなりまわした。皆様の友人知人で、またふる里通信が届いていない方や、どうぞ紹介して下さい。

